

令和4年第3回市議会定例会

## 市長提案理由

(令和4年9月1日提案)

令和4年第3回市議会定例会の開会に当たり、市政諸般の御報告をいたしますとともに、ただいま上程されました諸議案について御説明いたします。

私は、市長に就任して2期目に入る時に公約として掲げた3つの構想の実現に向け、取り組んでいます。一つ目が「図書館等一体的整備」、二つ目が「別府ツーリズムバレー構想」、三つ目に「東洋のブルーラグーン構想の実現」です。

「図書館等一体的整備」については、新図書館の基本・実施設計策定の段階にあり、令和7年度末の開館に向けて着実に事業を進めています。「別府ツーリズムバレー構想」では、起業・創業の新たな担い手と、それを支援するサポーターや企業とのビジネスマッチングの構築など、別府を起点とした新しい産業が芽吹くための環境づくりが順調に進んでいます。そして「東洋のブルーラグーン構想」についても、いよいよ実現に向けて具体的に動き出します。

今年の夏もスポーツでは、市内の高校生の活躍が見られました。高校野球では、明豊高校が2年連続で甲子園出場を果たしました。四国で行われたインターハイでは、剣道女子個人で明豊高校が優勝、同じく女子団体で準優勝したほか、弓道で別府鶴見丘高校が、自転車競技や飛込競技で別府翔青高校がそれぞれ入賞を果たすなど、好成績を収めました。コロナ禍で思い切り練習することができない時期もあったと思いますが、それにも負けずに頑張る別府の高校生の姿は、私たち市民に勇気と元気を届けてくれました。

新型コロナウイルス感染症は第7波に入り、大分県や別府市においても過去最多の新規感染者数を更新しましたが、強い行動制限が行われない中で、社会経済活動を維持しながら感染の波を乗り越えようとしています。

新型コロナワクチンは、6月から4回目の接種を開始しました。予約を円滑に行うため、インターネット予約や電話予約のほか、申請サポートセンターを市役所1階市民サロンに設け、予約受付のサポートを行いました。

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている市民や事業者を経

済的に支援するため、子育て世帯に対して対象児童1人につき1万円のクーポン券を支給するとともに、プレミアム商品券第4弾「また来たよ♪べっぷ湯けむりエール券」の販売を開始しました。市内の消費を喚起し、市全体の経済活性化につなげます。

私も8月半ばに新型コロナウイルスに感染しましたが、改めて保健所の皆様や医療従事者の皆様の御苦労を実感するとともに、その中でも丁寧で優しい対応に感動しました。この場をお借りして、皆様に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。言うまでもなく、感染対策には、こまめな換気、屋内でのマスク着用、手洗い、密の回避といった基本的な対策を実践することが重要です。訪れる観光客も迎え入れる私たちも、引き続き、警戒感を緩めることなく基本的な感染対策を徹底し、経済と市民生活を両立させていきたいと思っております。

ウクライナ避難民支援については、4月に受入れを開始して以来、10世帯23人の避難民の方々が新しい生活を始め、徐々に別府での生活に馴染んできておられます。市民の皆様から1,200万円を超える温かい御寄附を頂き、住宅や医療などの生活のサポートに加え、就学や就労の環境も整備されてきています。7月には駐日ウクライナ特命全権大使が市役所を訪れ、別府市民のウクライナへの深い共感、きめ細やかな支援に対し、謝意を述べられました。今後も温かい支援の輪が広がり、ウクライナとの友好が深まることを望んでいます。

観光地再生に向けた地域の取組を強力に支援するため、観光庁が公募していました「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」において、この度、別府エリアが採択を受けました。別府市旅館ホテル組合連合会等と連携して作成した、15事業者・20件から成る地域計画に基づき、宿泊施設の大規模改修等、地域の魅力を高めるための基盤整備に対する財政支援が得られます。現在取り組んでおりますユニバーサルツーリズム、観光DX等の「持続可能な別府観光に向けた政策4本柱」を具現化し、「別府観光版ウェルビーイ

ングの体現」、「新しい上質な別府観光の実現」が期待できます。今回の採択は、官民挙げてのこれまでの取組が評価され、観光地別府に対する国の大きな期待の表れでもあると考えています。コロナ禍からの反転攻勢として、「選ばれる観光地」を目指してまいります。

豪雨に見舞われた際、早期避難の判断材料とするため、気象庁は短時間で大雨をもたらす線状降水帯の予測を始め、7月には全国で初めて九州に線状降水帯予測情報が出されました。また、別府市と由布市にまたがる鶴見岳・伽藍岳では7月上旬に火山性地震が多発し、初めて噴火警戒レベル2となり、伽藍岳の火口から約1キロの範囲にわたって立入禁止措置が敷かれました。7月下旬には噴火警戒レベルが1に下がりましたが、温泉という地球の恵みを享受する別府市としては、火山災害を含む大きな自然災害を警戒し、被害をできるだけ減らすためにしっかり備えることが重要です。現在、避難が必要となる地区ごとに、昨年12月に改訂された「鶴見岳・伽藍岳火山避難計画」に基づく避難体制の考え方について、住民説明会を進めているところです。また、市内に分散して防災拠点設けるため、鉄輪地獄地帯公園に、防災備蓄倉庫と、災害時の避難所機能を併せ持つ施設の建設が始まりました。今後は、別府市男女共同参画センターあす・べっぷの体育室や内竈多目的広場にも倉庫を備え、物資を分散して配置し災害時に速やかに物資を搬出できる体制を整えます。新しい防災備蓄倉庫には備蓄物資管理システムを導入し、備蓄物資の在庫管理を正確に行い、災害発生時の市民の安全・安心につなげます。

子ども医療費については、小中学生の通院費一部助成の対象を、10月から住民税課税世帯にも拡大します。

共生社会の実現に向けては、バリアフリー調査に基づく歩道の段差解消や道路整備、通学路の安全確保等、誰もが安全に安心して通行できる道路になるよう取り組んでいます。

長年の懸案であります楠銀天街の老朽化したアーケード等の課題については、南部ひとまもり・まちまもり協議会と市が連携し、「楠銀天街検討委員会」を立ち上げ、去る8月23日には第1回検討委員会を開催し、解決に向けて取組を始めました。

内成地区のバス路線は、地域の交通を維持するため、本日からコミュニティバスの実証運行が始まりました。

市内の各地で、市と地域、事業者等が協働して、地域の課題に向き合う取組が広がっており、これこそが別府市が目指す「ひとまもり・まちまもり」であります。今後も地域力の強化、地域の活性化につながる取組を推進してまいります。

別府市制100周年に向けては、「記念事業実行委員会」、「市誌編纂委員会」がそれぞれ立ち上がりました。記念事業実行委員会では、今年度は100周年をPRするためのロゴマークの選定など、広報を中心に取り組み、市誌編纂委員会では、別府の歴史や温泉文化の魅力について分かりやすい形でまとめた、手に取りやすい市誌を編纂していきます。市民総参加で祝い、豊かな未来につなげていくため、令和6年4月の市制施行100周年に向けて機運を醸成していきます。

誰もが幸せに暮らしていけるまち、次の100年も市民の皆様が「別府に暮らしてよかった」と心から実感できるまちを目指し、「ひとまもり・まちまもり」に着実に取り組んでまいります。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、11億3千万円の増額で、補正後の予算額は588億3百万円となります。

その主なものとして、民生費では、子ども一人ひとりが権利を保障され、夢や希望をもって成長することができるよう、潜在的に支援が必要な子どもを早期に発見し、適切な支援へと繋げるため、子ども見守りシステムを構築する経費を

計上しています。また、原油などの燃料価格の高騰に伴う電気料金の値上げが社会福祉施設の運営に影響を与えているため、大分県と併せて電気代高騰対策を講じることとしています。

衛生費では、新型コロナウイルス感染症の収束に見通しが立たない状況を考慮し、引き続き、感染拡大を防止するとともに、市民の安全安心を確保するため、別府市PCR検査センターの開設期間を令和5年3月末まで延長する経費を計上しています。また、健康寿命延伸のために頂いた寄附金を活用し、ストレッチ教室等を拡充するとともに、地域住民が快適な環境で健康運動に取り組むことができるよう北部地区公民館の体育室に空調機器を設置するための経費を計上しています。

観光費では、温泉の温度低下や噴気・沸騰泉の減少等が見られる現状の課題等を解決し、将来にわたって持続可能な温泉の安定供給、さらには資源の確保や活用を図るため、温泉マネジメント計画を策定する経費を計上しています。

土木費では、本市の魅力である温泉や豊かな自然環境を生かし、世界に発信できるスパリゾート施設を備えた「東洋のブルーラグーン構想を実現する公園」を整備するため、公園設置基本方針を策定する経費を計上しています。

教育費では、近年の記録的な猛暑、自然災害の大規模化に対応するため、子どもたちの熱中症対策及び避難所の環境改善として、小中学校体育館、地区体育館等に空調を整備するための経費を計上しています。少子化や近年の子ども・子育てに関する制度改正等に伴い、子どもを取り巻く環境に変化が生じています。こうした中、子どもの成長にとって最適な環境、保護者のニーズ等を的確に捉え、就学前教育や保育の質を高めるとともに、将来を見据えた望ましい姿を検討するため、就学前教育・保育ビジョンを策定する経費を計上しています。また、学校給食の食材費が高騰していることに伴い、現在の献立を維持し、提供できるよう、食材費高騰対策を講じることとしています。食物アレルギー対応給食調理場

の整備については、資材の調達に大幅な日数を要することが見込まれることから、令和5年9月の供用開始に向けて、早期に契約を締結する必要が生じたため、債務負担行為を設定しています。

次に特別会計では、前年度決算確定に伴う繰越金の追加を中心とした補正予算を計上しています。今回の補正額は、7億1,435万9千円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は614億9,935万9千円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に予算外の議案について、御説明いたします。

予算外の議案については、「条例関係4件」、「その他10件」の計14件を提出しています。

議第64号「別府市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、別府市男女共同参画センターの体育室を防災備蓄倉庫として使用することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第65号「別府市議会議員及び別府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び別府市議会議員及び別府市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について」は、公職選挙法施行令の一部が改正され、衆議院議員及び参議院議員の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ポスター及び選挙運動用ビラの作成の公営に要する経費に係る限度額が改定されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第66号「別府市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」は、育児休業の取得回数制限の緩和等に関する人事院規則の改正が行われたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第67号「別府市手数料条例の一部改正について」は、長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部が改正され、既存住宅の長期優良住宅維持保全計画の認定制度が創設されたことに伴い、当該認定制度に係る審査手数料を定める

等のため、条例を改正しようとするものです。

議第68号「工事請負契約の締結について」は、別府市美術館外空調設備改修工事に係る工事請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第69号「令和3年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について」から議第77号「令和3年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について」までの9件は、地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定に基づき、令和3年度別府市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算並びに令和3年度別府市水道事業会計及び公共下水道事業会計の決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付すものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。